

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(西方地域)事前質問分

本城地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	中宿	市道52061号線の整備について【要望】 本城地区にある開山不動尊(通称、不動様)に通じる市道52061号線の東北自動車道アンダーパスより西側については、イノシシにより道路が掘り起こされ、不動様の例祭等で通行するのに不便をきたしておりますので整備、補修をしていただきたく要望いたします。	【道路河川維持課】 ご要望の箇所につきまして現地を確認しましたところ、道路脇に施されている土水路がイノシシによる被害で土砂に埋もれ、雨水が路面を蛇行することにより路面が破損しておりました。また、土水路の清掃も困難と考えられることから、今後、U字溝を設置してまいります。また、傷んでいる路面を敷砂利により補修をいたしました。	【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済 平成28年9月に敷砂利及び側溝布設を実施いたしました。

金井地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
2	神塚	思川堤防利用による道路環境改善について【要望】 金井地区の神塚自治会では、南北に走る桑原用水の両岸に住宅が建ち並んでいます。その桑原用水に架かる唯一のコンクリート橋は架橋して約70年を越え老朽化しております。その橋が万一崩落したり、改修、または増水等で通行できなくなった場合、神塚自治会は陸の孤島となります。 そこで提言として、思川の堤防の利用です。自治会に隣接する堤防は簡易舗装がしてあり、それを南北にそれぞれ800m延長すれば北は東武金崎駅に近づき、南は都賀地域に通じ、陸の孤島化は防げます。また、これにより北の小倉堰から南の都賀スポーツ公園まで約5kmの一大散策路となり、市の売りにもなります。 堤防は既に基礎の大部分ができていますので、それを利用することで低予算での整備が可能だと思われまます。国、県との折衝が絡むものと思いがすがご一考願います。	【道路河川整備課】 桑原湧泉橋につきましては、昨年度、橋梁点検を実施しておりまして、安全性は確保されておりますので、今後とも適正な維持管理をしております。 また、今回ご提言の思川の堤防につきましては、市道53091号線として認定している区間は自治会に隣接している簡易舗装までであります。 それ以外の南北道路について、堤防を道路として整備するような場合は、河川管理者の県と協議をして許可を得る必要があります。さらには堤防整備となりますと、民有地を所有している方の協力も必要となります。 しかし、ご提案の構想自体は良いアイデアだと思っておりますので、今後、市といたしましても地元関係者や県などと相談しながら、課題等を整理して実現の可能性を探っていきたくと思っております。	【左記回答要旨のとおり】

真名子地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
3	真上	市道1009号線(大柿・真上線)道路拡幅工事について【要望】 真名子地区にある市道1009号線の道路の一部(2箇所)については道幅が狭く、ダンプカー等の大型車とのすれ違いが出来ない状態です。 また、該当箇所はカーブしているため対向車も確認できない上、今年に入り採石業者のダンプカーの往来が以前の約3倍(1日に延べ300台程度)に増え非常に危険な場所となっておりますので、拡幅工事を要望いたします。	【道路河川整備課】 市道1009号線につきましては、一部幅員が狭く、特に大型車のすれ違いが困難な状況であることは認識しているところであります。 道路整備の要望につきましては、市内各地域から数多く寄せられているところではあります。予算等の関係から整備が追いついていない状況であり、各路線の現場の状況や緊急性等を勘案して優先順位を決めざるをえません。 ご要望の路線につきましては、早期の整備は難しいところではあります。待避所やカーブミラー等の設置を含めた整備手法について地元の皆様と相談してまいりたいと考えております。	【左記回答要旨のとおり】

[当日参加者からの質問及び要望]

真名子夢ホール

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
4	参加者	<p>私の住んでいる地域は、昨年9月の豪雨で孤立してしましまして、現在、FMくらの電波が入りません。先日確認いたしましたが入りませんでした。8月中くらいにはぜひとも入るようにしていただきたい。</p>	<p>調査をできるだけ早くしまして、可能な限り対応していきたいと思ひます。難聴地域の調査は今年いたしますが、工事自体はもうちょっと先になってしまひますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況：対応予定 難聴地域の調査の結果、西方地域の真名子地区から岩舟地域の小野寺地区にかけての市内北西部の山間地域及び国道50号以南の地域が難聴地域であることが確認されました。 難聴地域の解消対策としては、北西部の山間地域については、光ケーブル回線を利用して、集落ごとに簡易無線中継局を設置して中継放送を行う方法が考えられます。 また、国道50号以南の地域については、藤岡地域の旧三鴨保育園に設置してある三鴨中継局の送信出力を上げるとともに、三鴨中継局の送信アンテナを増設して難聴地域に電波を送信する方法が考えられます。 なお、いずれの方法も総務省との協議や許可等が必要となることや、詳細設計に3ヶ月、工事や電波の調整・確認等に5ヶ月、設計業務や工事の発注手続きにそれぞれ1ヶ月半の期間を要することから、難聴地域への対応は平成29年度末になると考えております。</p>
5	参加者	<p>小沼ー真上線のところにソーラーパネルの設置工事が入っております。また、現在、小沼ー真上線は土砂崩れの修復工事のため通行止めになっております。どちらの工事のものか分かりませんが、生コン車が入って路面が傷んできているので早急に対応をお願いしたいと思ひます。 ソーラーの方は、市が許可を出して工事が行われているということですが、山を崩してかなりの土砂を動かしているの、万が一崩れた時の補償とか、役所の方から業者に対しての指導をお願いします。 それともう一点。道路が一部狭くなっているところがあります。通常その道路は道幅が6.5mありますが、狭いところは5m、しかもそこは丁度カーブになっておりまして、カーブミラーの設置はありますが、スピードを出してくる車もあり非常に危ないので、早急に対応をお願いします。 道路整備は順番待ちということで、いつになったら対応していただけるのか分からない状況なので、返答につきましてはある程度の日数を決めてご連絡をいただきたい。</p>	<p>今の路線は、災害復旧工事をしている道路につながる場所かと思ひます。 今現在、工事は進行中であり、工事が終わり次第、生コン車を通して道路が破損したようなところについては再度現地を確認させていただきます。工事している側での補修、あるいは市が維持管理の中での補修ということで対応したいと思ひます。</p> <p>道路拡幅のご要望につきましては、おっしゃるとおり、要望に対してなかなか対応しきれないのが実状です。地域のバランス等を考慮いたしまして優先順位をつけさせていただいており、順次、危険度等が高いところから事業化を図っているところであります。対応がいつ頃になるか、ということにつきましては、ABCのランク付けをしております、閲覧もできるようになっておりますが、その路線についての具体的なことにつきましては、後日、自治会長さん宅にお伺いし、ご説明させていただきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p> <p>民地開発に伴うソーラーの設置ということで、現在行われているということですが、その点に関しましては許可を出すにあたり、業者と、特に災害関係については、地元自治会に対する配慮について十分な約束をさせていただいております。定期的に市でも現場を見に行っております。地元自治会とも話し合いはされていることと思ひますが、もし、そういった話し合いに基づかないようなやり方をしていると、何か危険な状態があるといったことがあれば、是非、早めに市の方へ連絡いただき、市の方から業者に対して指導をしていきたいと思ひしております。これまでも何度かそういったことがございましたが、その都度、業者の方に指導し自治会にも説明をするように話をしてまいりました。今後も安全対策には万全を期しながらそのような対応をしていきたいと思ひます。</p>	<p>【道路河川整備課・道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応 地元から「生活道路整備等に関する要望書」が出され、受理したところであります。要望内容については、生活道路の拡幅改良の要望であるため、栃木市道路整備基本計画に基づく生活道路の評価対象路線として、平成29年度の評価委員会において評価のうえ、優先順位に従い対応したいと思ひます。</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

真名子夢ホール

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
6	参加者	N3303号線(現在の市道51023号線)の接道(市道51027号線)の拡張についてのお願いがあります。その道路は、幅員2.1m、総延長215mで、農地の区画整理ができず取り残されてしまったところです。一般に中道と呼ばれており、そこには昭和33年に鉄筋の代わりに孟宗竹を使って造られた中道橋という橋が架けられており、現在でも生活道路として使われております。幅員が狭いことから車がすれ違うこともできず、非常に不便をきたしております。しかしながら、昨年の豪雨時には通れなくなった道路の迂回路として利用されたり、また、周辺の田畑の所有者にとっては非常に重要な道路となっています。緊急車両が躊躇なく入れる道路、橋になるよう整備をしていただきたい。周辺の土地所有者からは道路にかかる土地は市に提供するとの同意も得られております。地元住民の要望として市に受け止めていただきたいと思っております。	要望につきましては、市内各地からいただいております。お話を聞いておりました地元の熱意はよく分かりました。後で、担当の方から自治会長のところに伺わせていただきますのでよろしく願いいたします。	【道路河川整備課】進捗・対応状況：一部対応 自治会長のところへ伺い、「生活道路整備等に関する要望書」を提出していただくように説明しました。その後、地元から要望書が出され、受理したところでありますが、要望内容については、生活道路の拡幅改良の要望であるため、栃木市道路整備基本計画に基づく生活道路の評価対象路線として、平成29年度の評価委員会において評価のうえ、優先順位に従い対応したいと思っております。
7	参加者	岡川にあります防火水槽が昨年の豪雨により土砂に埋もれて用をなしておりません。これまでは消防団の方々の手で点検、清掃等を行っていましたが、今回は大量の土砂で業者をお願いしないと整備できない状態だと思われまますので対応をお願いします。	防火貯水槽に土砂がたまって、有事の際に使えないということですので、後日、現地を確認させていただきまして対応をしたいと思っております。	【西方産業振興課】進捗・対応状況：対応済 当該箇所につきましては、消防水利として利用していることもあるため、西方産業振興課及び栃木市消防本部同行の上、河川管理者である栃木土木事務所を訪問し、土砂の撤去を依頼しました。その後、平成28年末に、河川管理者側で土砂の撤去を行い、完了した旨を質問者に対して報告いたしました。
8	参加者	7月8日の新聞記事に、7月から9月の間に栃木県で277回のゲリラ豪雨が起きるだろうという予測が載っておりました。もちろんこれを鵜呑みにはできませんが、この数は全国最多と書いてありました。これは大きな問題だと思っております。昨年の豪雨でも真名子地区では土砂くずれがあちこちで起きております。大雨の際の住民への周知も、防災無線が非常に聞こえにくかった。また、前回の豪雨時には明け方頃には避難所が満員になってしまったと聞いております。そのへんの対応を市はどのように考えているのかお聞かせ願いたい。併せて備蓄品についてもどのように用意されているのかも教えていただきたい。	防災無線の件につきましては、まだ市内全域に行き渡るほどの箇所数は設置できておりません。今年度と来年度で市内全域に防災無線を設置する工事をしておりますので、それまでの間は少し聞こえにくいこともあるかと思っております。また、防災無線はどうしても大雨時には聞こえにくいことありますので、色々な情報伝達手段をとっております。防災無線については大雨時には言葉での情報発信ではなく、これからはまずサイレンを鳴らして住民の皆さんに何かあったんだということを気づいていただき、それに伴って、防災ラジオによってどういう状態なのかということを知っていただくといった色々な方法をとって市民の皆様へ情報を伝達していきたいと思っております。 避難所につきましては、現在、市内全域で125箇所あります。それらを災害の種類、地域によって優先的に開設する場所の検討をしています。間もなく公表できると思っております。 備蓄品につきましては、新聞にも載っておりましたが、各市町村で3日間分の備蓄品を備えていただければ、それ以降は県の方でも考えますという話がありましたが、正直いまして栃木市では、まだ3日分の備蓄品の備えができておりません。毎年少しずつ備蓄品を増やしてはいますが、備蓄品の足りない分につきましては、普段から皆様各個人で必要なものを備蓄していただきたいと思っております。また、食料品以外の毛布等の備蓄についても、これから充実を図っていきたく思いますのでご理解をいただきたいと思っております。	【危機管理課】進捗・対応状況：一部対応 防災無線につきましては、今年度46箇所の整備が完了し、市内の防災無線の設置数は110箇所になります。また、平成29年1月に防災ラジオの二次販売も行いました。今後も、防災無線の整備、防災ラジオの販売等、市民の皆様へ迅速に情報を伝達できるよう努めて参ります。 避難場所に関しましては、地域防災計画を改訂し、地震や水害などの災害種類ごとの指定緊急避難場所と指定避難所の見直しを完了いたしましたので、今後、市のホームページ等でお知らせしてまいります。 備蓄品に関しましては、今年度、非常食を16,370食、飲料水(500ml)を12,000本購入いたしました。消費期限を迎えるものもあり、全体としては、想定される最大避難者数の1日分弱の量となっております。 不足が見込まれる分につきましては、民間企業との災害時応援協定による流通備蓄などの対応を予定しておりますが、流通備蓄に関しては物流面での課題もありますことから、各家庭においても、食料や飲料水など、一定の備蓄を行っていただくよう啓発を行ってまいりたいと考えております。

[当日参加者からの質問及び要望]

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
9	参加者	<p>私は、思川開発事業と栃木市の水道水を考える市民の会というものを今年3月に旧市内の方を中心に立ち上げました。</p> <p>皆さんの方がご存じなのかと思いますが、南摩ダムの事業が52年前に計画されて、2009年に中断され、計画を進めるのかという検証作業があつて、具体的には去年の11月からまた検証作業が再開されて、進む方向で協議がされているという状態です。現在、思川開発事業がどのあたりまでできているのか、今後の見通しなどをお聞きしたい。</p> <p>思川開発事業の先に進む条件として県が出している方針が、栃木市の水道水源が現在は100%地下水ですが、色々と条件はありますが、南摩ダムができた際には水道水源の40%くらいは思川の表流水を利用するという事です。市長は6月議会の答弁で、県の方針には理解を示すと答弁されています。理解は示しても、すぐにそうしなければならないといった義務は生じないんだと。もう少し優しく言うと、県が国、それから水資源機構から県南地域の整備計画を進めて水を買ひ、それを小売する形で、栃木市、壬生町、下野市が買うという形。それは買わないよと言えいいんだとおっしゃるので、そう進めて欲しいという気持ちがあるわけですが、そういった問題も知らないよ、という方が多いのではないかと思います、命の問題、生活に直結する問題なので言わせていただきました。</p>	<p>今どうなっているのかということにつきましては、6月の議会でもお話しさせていただきましたところですが、まだ計画はできていない段階で、これは市や町からの要請に基づいて県の方で計画を作るという形になっております。まだその段階に至っておりませんので、具体的な話には全くなっていない状況です。</p> <p>市長の答弁の中で、県の方針には理解を示すという話はさせていただいたところですが、栃木市の水源につきましては100%地下水を利用しているということで、危機管理という面で考えた場合、色々なバックアップ水源というものを持つ必要があるのではないかとこの考えもございします。たとえば、地下水の汚染というものも考えられることすし、熊本で起きた地震災害では、大規模な地震があつたために地下水が汚れたという話も伺っております。そういったことを考えますと、100%地下水だけに頼っているということについては、逆に危険もあるのではないかとこの考え方に基ついて、市長の方から回答をさせていただいたところす。ただ、今の段階ではまだそういった計画ができていない状態でございますので、何とも申し上げられないといったお答えにさせていただきます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

西方総合体育館

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
10	参加者	<p>北部健康福祉センターの建設にあたり、施設の北を走る市道1005号線の改良整備についてですが、7月～12月中旬に測量を行うと通知が来ましたが、この道路の整備については、子ども達の通学路でもあり、センターが完成すると車の交通量も増え危険度が増すと思われるので、東に向かって市道1008号線に突き当たるスーパーのところまでの整備をお願いしたい。</p> <p>金崎地区の子ども達の通学路、またセンターが完成した際にはご年配の方も通る道路なので、是非、整備をお願いしたい。</p>	<p>過日、北部健康福祉センターと市道の整備に伴う測量の立ち入りということでご案内したところですが、今回は今お手持ちの地図の範囲を整備させていただきまして、次の段階になったときに、ご要望のスーパーのところまでの整備をやっていくということで考えておりますので、その時期がきましたら改めてご案内をさせていただきたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
11	参加者	<p>5月に西方小学校と中学校で1,200名の署名を集めて県道の信号機の設置と本郷地区の横断歩道の設置の要望書を交通防犯課に提出しました。その後の進捗状況が何も入ってきていないので、本日、分かれば教えていただきたい。</p>	<p>ご要望につきましては、各地域から提出される他の案件と併せまして、警察の方に要望させていただいております。なかなか実現に至らないのが現状ではありますが、詳細を調べてご回答を差し上げたいと思います。</p>	<p>【交通防犯課】進捗・対応状況：対応済 要望書につきましては、警察に送付いたしました。 本郷の横断歩道につきましては11月に設置されました。県道の信号機設置については信号機の設置場所や交差点の形状等から難しいとの見解をお伺いしましたが、引き続き市として要望はしていきたいと考えております。要望者代表へ説明いたしました。</p>
12	参加者	<p>子ども達が行うボランティア活動や廃品回収、工場見学など、何か事業をする際にお金がないことがある。その際に何か助成があれば教えていただきたい。ないのであれば、高齢者への助成事業だけではなく、子ども達への助成についてもご検討いただきたい。</p>	<p>なかなかぴったりの助成制度はありませんが、とちぎ未来アシストネット事業で地域評議会の方に補助金を出しております。その中で、学校、地域、家庭が連携して行う、地域から学校へのボランティア活動、あるいは学校から地域への子ども達のボランティア活動に対する事業に充てていただく補助金を出しています。また、子ども会育成会や自治会等が子ども達に対して郷土芸能やお雛子の保存といった文化振興面での助成制度はございます。とちぎ未来アシストネット事業では、例えば、土曜日に「なんだろろう探検隊」ということで、自治会と学校が連携して自然体験や調理実習等の学習会を実施するなどして制度を利用している例がございます。ただ、工場見学ということに対しては助成することは難しいのかなと思います。生涯学習部の方では生涯学習課におきまして、サイエンススクールという事業を行っております。この中で、ものづくり体験ということで、工場見学、あるいは大学、高校へ行っての体験事業を行っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
13	参加者	<p>西方には以前、西方公民館に講堂がありましたが、講堂が図書館となり、なくなりました。他の会議室等では狭くて用が足りないのので、今空いている議場を改修して講堂にできないでしょうか。</p>	<p>元議場につきましては、形状的にも段差があり平らではありません。改修をするにしてもかなりお金がかかると考えられます。当面は西方総合文化体育館を有効に利用していただければと思います。</p> <p>喫緊の解決方法とはいきませんが、今後、北部健康福祉センターの整備を予定しておりまして、そのセンターの施設の機能といたしましては、当然、保健指導を行う保健施設としての部分や健康増進を行う部分があります。その他に福祉機能も備えまして、障がい者、高齢者、子育て世代を含めた幅広い住民を対象としたものや、ボランティアとの交流、活動の拠点、憩いの場、更には、親子や児童の遊び場、そういったものを含めた内容での施設整備を予定しておりまして、具体的には今後基本設計、実施設計を行っていくということで、スケジュール的には平成31年度にはなっていますが、その中では地域住民の方が集えるような施設も考えております。</p>	<p>【福祉総務課】進捗・対応状況：対応済 以前から、地域住民の方が集える講堂を整備してほしいというご要望をいただいておりますので、平成28年度に実施した北部健康福祉センター(仮称)の基本設計において、センター1階の集団検診室を、100人程度が土足のままで入れる講堂としても利用できるように計画いたしました。</p> <p>なお、左記の回答でも申し上げたように、幅広い層の方々の交流や活動、憩いの拠点となるよう、主に高齢者の趣味の活動を行う「教養娯楽室」や親子・児童の遊び場となる「多世代交流室」、日常の健康づくりのための温泉を活用した「歩行用プール」や「トレーニング室」「浴室」なども計画しております。</p> <p>今後の予定につきましては、平成29年度の実施設計を経て平成30年度に建築工事着手、平成31年度中の竣工を目指しておりますので、完成まで今しばらくお待ちください。</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
14	参加者	<p>スマートインターチェンジ(以降、スマートIC)についてもう少し詳細を聞かせていただきたい。</p> <p>5月27日に国の準備段階調査が発表され、栃木県で2箇所スマートICができるということになり、西方、都賀、国道293号線沿線にとっては活性化につながるのではないかと非常に関心が高いと思われます。先ほど具体的に市の負担金が9億円と言われていたので、既に基本設計ができていて、どのようにICが取り付けられるのか、差し支えなければお話しいただきたい。</p>	<p>スマートICにつきましては、5月27日に新規事業箇所として採択されました。6月に連結許可を国から受けまして、7月14日の伝達式で国から許可書をいただきました。具体的な動きとしましては、平成27年度、地元説明会を行いまして、スマートICの整備効果や主なスケジュール等につきまして説明してまいりました。具体的な測量につきましては、9月に地元説明会として地元の方に入っていく予定です。それから具体的な測量に入り、具体的に図面に落とすという形になります。</p> <p>基本的な考え方としましては、パーキングエリアと国道293号線を結ぶ形でのICとなります。普通のICと違うところは、ETC搭載車しか利用できないところです。ETCを搭載した車は、そこから高速道路に乗り降りできますし、当然、近くには西中核工業団地もありますので、大型車についても、そこから乗り降りできる形で考えています。これまでは、国の規制もありまして、あまり細かいところまではお話ししていません。これから8月に議員の皆様にお話しをしてから、何らかの形で地域の方にはお知らせをしたいと考えております。</p> <p>栃木ICと鹿沼ICの間は18.8kmと長いため、丁度その中間のPAに設置するという事で、高速道路の利便性の向上にもつながるかと思っております。また、本市には、国道は50号と293号しかありません。国道は緊急時の輸送路として重要でありますので、スマートICができることによって、災害時等の安心、安全確保という観点からも、防災拠点へのアクセスが向上するものと考えております。また、宇都宮西中核工業団地についても、まだ売れ残った土地がありますので、その販売にも寄与するものと考えております。それから、西方地域につきましては、苺やニラの産地として東京等への輸送にも大きく寄与するものと考えております。なお、現在、栃木ICが土日はゴルフ客等で非常に混み合っておりますので、そういった交通の分散も考えられますので、市としては早く整備をしたいと考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
15	参加者	<p>栃木市斎場についてですが、斎場建設に反対する意見もあるようですが、現在の進捗状況も含めてお聞かせいただきたい。</p>	<p>栃木市の現斎場につきましては老朽化が進んでおります。また、少子高齢化に伴いまして、少産多死の時代になり、今後ますますそのような傾向が強まってくかと思っております。そのような中、斎場の老朽化に加え、現在の炉の数では足りなくなってきました。更には価値観、ライフスタイルの多様化に伴い、葬儀に関するニーズも多様化してまいりまして、現在の斎場ではそういった需要に対応できないということから、平成24年度に新斎場を建設すると決め色々な検討を重ねてまいりました。</p> <p>今年(H28年)の1月に市長が地元を伺いまして、南部清掃工場跡地を新斎場の建設の場所との表明をさせていただいております。一部に反対の意見をお持ちの方もいらっしゃいますが、それとは逆に早く造ってくれという声も市には寄せられております。市では、反対の意見をお持ちの方に対しましては、丁寧な説明を続けるとともに、建設に向けて粛々と事務を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>当初予定しておりました建設、オープンの時期につきましては、少し遅れておりまして、今後のスケジュールについては現在、見直しをかけております。新たなスケジュールにつきましては間もなく公にできると思っております。いずれにいたしましても、何としましても新斎場を建設していきたいと担当としても思っておりますので、是非、皆さま方のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。</p>	<p>【斎場整備室】進捗・対応状況:対応済</p> <p>新斎場の建設につきましては、平成28年8月に全体スケジュールを見直し、新聞発表や広報とちぎ10月号にてお知らせをいたしました。</p> <p>新スケジュールでは、平成33年度末頃(平成34年3月)の利用開始を目標としております。この目標に向け、本年度事業として、用地測量や地質調査を11月に完了したほか、平成29年度までの継続事業として環境に対する影響を調査する「環境影響評価業務」及び事業を民間活力を利用するPFI方式で実施するかどうかを調査する「PFI導入可能性調査業務」を実施しております。</p> <p>また、地元の皆さまに対しては、説明会の開催や自治会回覧等を通して情報提供に努めているところです。</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

No.		質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
16	参加者	<p>私はスクールガードリーダーを5年やっております、子ども達の通学路の道路の白線がはっきりしていないので、子ども達を歩かせるのにどこに沿って歩かせるのか教えるのに困っています。学校でも白線に沿って歩くように指導していると思います。私は西方小学校をメインにやっておりますので、3、4年前に西方小学校につながる道路について白線の整備をお願いしましたところ、受けていただきまして、今のところはきれいになっています。しかし先週、残念ながら、中学生が登校中に事故に遭ってしまいました。場所は西方小学校の西側の通りで危険な場所との認識があったところですが、そんなこともありまして、毎年の白線の整備等は事業として定期的に行われているのか教えていただきたい。</p> <p>また、何か気がついた時には本庁までいかないとダメでしょうか。支所の人数が減ったことで、安全面で話が遠くなってしまうことは非常に危険な気がします。できれば支所のここで話をすれば本庁に話が通るといったところを教えてくださいたいと思います。</p> <p>また、現在、自治会が市へ提出する防犯灯設置の申請書がありますが、そういったものと併せて道路の白線の整備、信号機の設置、カーブミラーの設置についての申請もできたらいいと思います。</p>	<p>通学路につきましては、「通学交通安全プログラム」ということで、教育委員会と市の道路関係、県の土木事務所、そして警察も交えまして、危険箇所につきまして、年に何回か点検をさせていただいております。その中で、特に危ない箇所については白線を引いたり、注意喚起看板を立てたり、場合によっては道路整備も行っているところですが、今後もそのような形で対応させていただきたいと思います。また白線の費用につきましては、順次対応させていただいているところですが、現在は建設関係部署も本庁に一本化されておまして、道路河川維持課が所管しております。そちらの方でご相談いただくか、道路の整備、修繕等につきましては、支所の地域づくり推進課の方でもお話しをいただければ本庁の建設関係部署に連絡があるようになっております。その後、本庁の方から相手の方にお邪魔するような形で対応させていただいておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>防犯灯の設置やカーブミラーの設置等、いくつかの異なる部署に関係してくるものですから、調整をさせていただいて、その上で何ができるのか検討をしてみたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
17	参加者	<p>先ほど市長の方からコンパクトシティということで、地方都市リノベーション事業についての説明があったので、それに関連して質問します。</p> <p>コンパクトシティを目指す国が都市再生特別措置法というものを改正して、立地適正化計画というものの提出を求めているかと思っております。宇都宮市のホームページで見ますと、宇都宮市では素案を作成しております、それを見ますと、居住誘導区域とか都市機能誘導区域といったものが設けられているようです。現在、栃木市といたしましての計画の策定状況、進捗状況がどういったことになっているのかといったことと、それから今日ご説明いただきました、地方都市リノベーション事業、定住促進整備事業といったものとのようにリンクしているのかというあたりを教えてくださいたいと思います。</p>	<p>まず立地適正化計画の進捗ですが、国の方で平成32年度までに150自治体を目標に作って下さいという方針を立てています。栃木市においても検討するというので、国の方には手を挙げている状況でございますが、現時点ではまだ具体的に、居住誘導区域とか都市機能誘導区域というもののついて、どこをどうするといったところまでは至っていない状況です。</p> <p>コンパクトシティというものを進めていく上で、先ほどのリノベーション事業等とどのように関係してくるのかということですが、まず国が先ほどの特措法の改正をしてそういった制度を設けたといったところは、多くの地方都市において人口減少、高齢化が今後急速に進展をしていくということが言われておまして、その中で、ある程度のエリアの中で必要な都市機能でありますとか、生活に必要な機能というものを集約、配置していくというような方針で進めていくということになっております。</p> <p>地方都市リノベーション事業につきましては、栃木地域の中心部で様々な機能を適正に集約、配置して進めていくということで今取り組んでいるところでございます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>